会　　議　　録

<table>
<tr><td colspan="2">会　議　名</td><td colspan="5">第 69 回　八王子市ごみゼロ社会推進協議会</td></tr>
<tr><td colspan="2">日　　時</td><td>令和 5 年(2023 年)
9 月 29 日(金)</td><td>開始</td><td>午後 2 時
00 分</td><td>終了</td><td>午後 3 時
00 分</td></tr>
<tr><td colspan="2">場　　所</td><td colspan="5">八王子市役所　本庁舎　803 会議室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出席者</td><td>委　　員</td><td colspan="5">石井委員、守屋委員、吉田委員、秋間委員、間嶋委員、
平澤委員、下山委員、押山委員、佐怒賀委員、嶋田委員、
安瀬委員、伊藤委員、増渕委員
以上 13 名</td></tr>
<tr><td>事務局等</td><td colspan="5">木下循環型都市推進専門管理官、岡田ごみ減量対策課長、
河内廃棄物対策課長、高野清掃施設整備課長、
青木ごみ総合相談センター所長、久保田戸吹清掃事業所長、
平井館清掃事業所長、森田戸吹クリーンセンター所長、
熊澤館クリーンセンター所長

【ごみ減量対策課】白鳥主査、田代主査、前川主査、小楠主任、
田村(裕)主任、宮本主事
【清掃施設整備課】枝根課長補佐
【ごみ総合相談センター】河井主査
【戸吹クリーンセンター】黒田課長補佐</td></tr>
<tr><td colspan="2">欠　席　者</td><td colspan="5">大貫委員
以上 1 名</td></tr>
<tr><td colspan="2">議　題　等</td><td colspan="5">1. 議題
(1)　民間企業との連携によるペットボトル水平リサイクル事業について
(2)　ごみ処理基本計画における令和 4 年度の進捗状況について
(3)　循環型都市八王子プラン(ごみ処理基本計画・清掃施設整備計画)素案に係るパブリックコメントの実施について

2.その他</td></tr>
<tr><td colspan="2">公開・非公開の別</td><td colspan="5">公開</td></tr>
<tr><td colspan="2">傍　聴　人</td><td colspan="5">なし</td></tr>
</table>

配布資料	会議次第 第 69 回ごみゼロ社会推進協議会　席次表 八王子市ごみゼロ社会推進協議会　委員名簿 資料 1　民間企業との連携によるペットボトル水平リサイクル事業について 資料 2-1　令和 4 年度ごみ処理基本計画進捗状況報告について 2-2　ごみ処理基本計画における令和 4 年度進捗状況について 資料 3　循環型都市八王子プラン（ごみ処理基本計画・清掃施設整備計画）素案【概要版】 パブリックコメント　意見書 ごみゼロ通信　2023.10.1 号
	1.　議題 （1）民間企業との連携によるペットボトル水平リサイクル事業について 【意見、質疑応答等】 委員：ペットボトル水平リサイクル事業とは、メーカーがペットボトルを資源として購入するということか。 市　：今も収集したペットボトルは容器包装リサイクル協会を通して売り払いをしているが、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社様（以下コカ・コーラ）と協定締結後はコカ・コーラのみに売り払いを行い、得た収益は市の歳入となる。 委員：前回戸吹クリーンセンターを見学した際、ペットボトルの売り払いで年間 1 億円ほどの収益があるとの話があったが、協定締結により、市の収入は増えるのか。 市　：これまでと同等か若干高くなる見込みである。 委員：コカ・コーラ以外の企業から申込みはあったのか。 市　：もう 1 社申込みをいただき、コカ・コーラを含めた 2 社によるプロポーザル方式（企画提案による業者選定）により決定した。 委員：複数社でプロポーザルをしなくて良かったのか。 市　：公募を行い、ほかの企業様もご検討いただいたかと思うが、申込みがあったのが 2 社であった。 委員：私の地域は月曜がペットボトルの収集日であるが、スーパーにあるペットボトル回収に出すより、これからは市の収集に出すようにしたほうが、市としての売上は上がるのか。

	市 ：スーパーの店頭で回収しているペットボトルについて、お店の方でしっかりリサイクルをしていると思うので、そこはあまり気にされることなくこれまで同様の排出をしていただきたい。 委員：とても良い取組みだと思うが、ペットボトルの買い上げ価格というのはこれまでと大体同じくらいなのか。 市 ：東京都内のペットボトル買い上げ価格上位5自治体の平均でコカ・コーラに買い上げしていただけることとなっているので、基本的にはこれまでと同じような価格になる予定である。 委員：あまり安い価格での買い上げでは市にとって利益にはならないのではと気になったので質問したがそれならば良かった。 委員：ペットボトル水平リサイクル事業というのは市町村ごとに協定を結ぶのか。 市 ：今のところはそうである。コカ・コーラは 10 の市町村と協定を結んでいるが、すべて市ごとに行っている。 委員：資料に「飲料メーカーによる環境教育の実施」とあるが、どのようなものを想定しているのか。 市 ：小学校や中学校を対象とする出前講座により周知啓発を行っていただく予定である。講座内容については市と協議のうえ決定していく。他市との実績もふまえ、八王子市にあった環境教育を想定している。 (2)ごみ処理基本計画における令和 4 年度の進捗状況について 委員：基本施策 2-3 にリユースという言葉があるが、家庭から排出されたタンスや自転車を販売することはできないのか。今、日本製の家具や自転車は海外でとても人気だという話を聞いたことがあるので、粗大ごみとして排出されたものをそのまま業者に引き渡し輸出してもらえれば良いのではないか。 市 ：現在、粗大ごみで排出された大型家具のうち、木材のものは破砕し焼却処分している。保管場所がないという課題があるため現在はこのようにしている。2023 年 10 月からジモティとの不要品のリユース実証事業も行っていくので、海外へのリユースについてもすぐには難しいが併せて検討を進めていく。

	排出された自転車については、何台かまとまった段階で売り払いを行っている。その後リユースなのか鉄くずとして利用されているのかは分かりかねるが、そのような処理をしている。 市 ：また、自転車には防犯登録がついているため、中古の自転車をそのままほしい人に買ってもらうのは難しいことや、大型家具も、運搬経費が高くかかってしまうという課題がある。 委員：他市であるが私の家の近くにごみの清掃工場があり、そこではこの会議室 3～4 倍の広さのスペースにソファなどの中古家具が展示され、500 円・1000 円といった価格で販売されている。そういった取組みもできたら良いのではないか。スペースがやはり問題かと思われるが。 市 ：スペースもそうだが、市民の方が直接そういった中古品を販売するような場所に持ってきてくれるのであれば、“ほかの方にお譲りしてもいい”という意識をお持ちであることは分かるが、市で回収したものについてはその意思について確認する必要がでてくるため、そういったことも含めやり方については検討が必要である。 委員：基本施策 1-3 の夜間及び深夜パトロールとはどのような場所をパトロールされているのか。私が通う大学から、近所の河川敷が汚いという連絡があったので、そういったところもパトロールされているのか気になった。また、前回も話させていただいたが、学生の入れ替わりによって家具が多く排出・購入されていると感じるので、入れ替わり時期である2～4月だけでも不要な人が持ち込めて、必要な人が安く手に入れることができるシステムがあれば良いと思う。 市 ：夜間のパトロールは、毎日大体 18 時から20時半くらいまでの間に、北・南コースといった館清掃事業所と戸吹清掃事業所で分かれ、各収集地域の公園等を軸にしてぐるっと見ていくコースをとっている。そのコース沿いに河川がある場合はそういった場所に不法投棄されていないか、実際のところ不法投棄をしている現場に遭遇することはあまりないが、不法投棄されたものについては各所管と連携をとり適切に処理をしている。 市 ：大学生の入学・卒業の時期の粗大ごみのリサイクルについて、市の方でも検討を進めており、やはり場所と運搬の問題があるため、できるだけ大学ごとに学生さん同士がうまくマッチングするような仕組みができないかと考えている。そのような仕組みができた際には行政もそこに関与しながら良い形で取組みを進められたらと考えている。ここ2～3年

	はコロナの関係で控えていたところであるが、今年度落ち着いてきてだいぶ動けるようになったので各大学さんに少しご相談させていただいて、なにか良い仕組みができないか検討していきたいと思っている。 委員：大学には購買部や生協といったところがあるかと思うのだがどうか。古いから使わないといったことはあるか。 委員：今の大学は、生協が離れている場所にあるためあまり使わない場合や、私の大学は生協等も全て独自のグループでやっているので、学内に生協が入っているところは少なくなっている。購買や食堂も、どこか業者の方が入って運営されていることが多く、大学の物販というのは少なくなっている。 委員：学生の方に大きな家具は需要がありそうか。 委員：そうだと考えている。大学生が卒業する時期に家具が粗大ごみとして捨てられるような現状はあるか。 市　：使えるようなものも排出されることもあるので、うまく先輩から後輩につながるような仕組み等、できるところから進めていきたいと考えている。 委員：法政大学や拓殖大学の学内を見学する機会があったが、すごく広かった。どこかの一画にテントなどを建てて学生の中古家具の保管場所を作れば、安く売り買いができるのではないか。やってみたらどうだろうか。 委員：検討していく。多摩地域の大学はキャンパスが広いことが多くスペースが余っている場所もあるのではないかと思う。 委員：基本施策 1-3 不法投棄対策の取り組みで、収集業者や日本郵便と連携し不法投棄の防止を図ったとあるが、今まで実際に市に連絡はあったか。 市　：今まで4～5年、様々な企業と連携しており、日本郵便や、出前館のほか、八王子市資源循環協会という収集をしている業者の方と協定を結んでいる。これまで通報があったのは5件。通報が少ないほうが不法投棄が少ないというふうにとらえているが、それよりも我々としては、“色々な目が見ている”という“抑止力”が一番重要であると考えている。市の直営の収集車、夜間で営業している出前館、土日に配達のある日本郵便等で、月曜日から日曜日まで昼夜不法投棄防止の目は光らせられており、一定程度は評価できるのではと考えている。 委員：私は小比企町に住んでおり、毎週日曜日に 20 年位活動をしているが、不法投棄があった際は市役所に連絡ではなく、駐在さんをとおして市役所へ連絡し処理していただいている。その対応でよろしいか。

	市 ：平日であれば、直接市の廃棄物対策課にご連絡いただければ対応する。廃棄物対策課では毎日 1～2 台の車でパトロールをしているので、不法投棄があった際には現場に直行し対応しますし、清掃事業所の職員も連絡があれば一緒にパトロールをすることもある。どちらでも構わないのでご連絡いただければと思う。 委員：駐在さんに連絡して、パッと見ると綺麗になっているので、市の方に連絡して対応いただいたのだとは思っていた。 委員：基本施策 1-2 に近隣多摩 26 市に調査を行いとあるが、どのような調査をされたのか。 市 ：集団回収の 26 市の調査ですが、各市の担当部署に文書で照会を行い、回答の結果をまとめ分析している。 市 ：集団回収の事業では、集めた町会等の団体にそれぞれ品目によって補助金を出しているが、その補助金の金額の調査等を行った。 委員：他市がどのように集団回収をやっているのか興味があるので、できればその結果を開示してもらえれば参考になるかと思う。 （3）循環型都市八王子プラン（ごみ処理基本計画・清掃施設整備計画）素案に係るパブリックコメントの実施について 委員：意見等を出した場合、なにかメリットがあるようなことはあるのか。素晴らしい意見に対し、なにかポイントが付くといったことはされるのか。 市 ：計画に対してのご意見のため、そういったメリットはない。全てを掲載するのは難しいかもしれないが、反映できるものがあれば計画に盛り込ませていただく。 委員：良い意見には感謝状がでるといったことも良いかと思うのだが。 市 ：申し訳ないが今回はそういった対応はとっていない。 委員：10/1 号の広報に“プラマークのあるプラスチック”“プラマークのないプラスチック”について書かれた記事を見たが、実際、容器包装プラスチックの日に製品プラスチックが間違えて出されている率はどれくらいなのか。 市 ：間違えて入っているものが全て製品プラスチックかどうかは分からないが、容器包装プラスチックは年間約 6,000 トン収集され、そのうち 15%、900 トンくらいが汚れた容器包装プラスチックや製品プラスチックが混ざって排出されている。

	委員：混ざって出されたものは工場で選別されるということか。 市　：戸吹クリーンセンターで手選別している。昔に比べればだいぶ良くなってきており、当初はチャイルドシートが排出されていることもあった。現在は周知も進み市民の方の理解も深まってきているが、まだ異物が混ざって排出されることはあるという状況である。 委員：選別は戸吹クリーンセンターでやられているのか。館クリーンセンターではやっていないか。 市　：戸吹クリーンセンターだけである。異物としてほかに注射針や刃物が入っていることがある。 委員：今でも注射針などが入っていることがあるのか。戸吹クリーンセンターの廊下に掲示してある異物一覧のスペースに、異物が入っている割合がピークはこれぐらいで今はこの辺りまで改善されているというようなグラフがあれば良いと思う。 市　：推移というものは出してはいないが、容器包装プラスチックの収集を始めた平成 22 年よりはかなりよくなっていて異物が混入している率は 15％くらいになっている。しかし、今でも注射針は1～2本というよりケースに入れて大量に出されている。 市　：市の収集は戸別収集で、容器包装プラスチックについては市の職員が毎日収集に行っている。収集の際に、持ってみて重かったりした場合は中を確認させていただくことがある。包丁や重いプラスチック容器等異物が入っていた場合には、「これは容器包装プラスチックではありません」といった啓発シールを貼らせていただいている。とても地道な活動ではあるが、これをずっと続けていくことで異物が混入している割合が下がっていくと考えているため継続して行っていく。 委員：ペットボトルはキャップを外しラベルははがしてから排出することについても今回のごみゼロ通信に掲載されていたが、スーパーで捨てる際は何もせずそのままのペットボトルを排出しているがそれで良いのか。 市　：基本的には市の収集でもスーパーの回収であってもキャップを外しラベルははがし、軽くすすいでから捨てていただきたい。 委員：徹底されていないように思う。 市　：そういったところもあるので、広報やイベントなどの機会を通じて市民の方に周知を進めている。まだ浸透していないのは一部だとは思うが、これからも続けていく。

	委員：町会ごとにみるとどうか。うちの町会では守るようにしているが。 市　：集計を取っていないので分かりかねるが、皆さんにしっかりやっていただいているので、問題ないと考えている。 委員：ごみの分別は、燃えるごみ燃えないごみというところから始まり、燃えるごみの生ごみ以外は資源として容器包装プラスチックに入れていいというふうに考えてしまっている人がはじめは多かったと思う。私自身も“製品プラスチック”と気が付くまで時間がかかった。しかし、この広報のように周知がされているので分別が徹底されてきていると感じている。年に１回のごみゼロ通信とかこういった形で広報にごみだけじゃない情報が入ると、見る部分も取り出して見られるものだと、広報が来ていてもそこに置くだけでなくこのように手に取りやすいものはとても良いものだと思う。 市　：市民の方に理解を深めていただくには地道に何度も何度も周知する必要があり、56 万人もいるので全体に周知をするとなると、今おっしゃられた年１～２回のこのような機会を通じてやっていかないとなかなか広まっていかないとは考えている。また今後はプラマークのない製品プラスチックも資源化していきなさいよという法律が国の方で定められているので、まだ時間はかかるがそういうことも検討して、なるべく資源化には努めていきたいと考えている。 委員：町会などの団体で行っている集団回収について、町会は500 以上あるが、集団回収行っているのは何団体位あるのか。 市　：350 団体ほどである。 委員：うちの町会はこども会が中心となってやっていて、年４回くらい行っている。 市　：集団回収は、地域のコミュニティを広げていただくために、廃品回収というか、どこかに集まってみんなでやるというようなイメージだったが、最近は行政回収のように土日に業者が回って回収したりと、段々コミュニティの場というより補助金の関係で、とりあえず集めて町会として補助金をもらうような趣旨に変わってきている。 委員：資源物は町会での集団回収と行政回収のどちらに排出したほうがいいのか。 市　：できればコミュニティの醸成という観点でいくと、町会での集団回収をやっていただくと非常に助かる。町会の加入率も下がってきている状況もあるので、そういったところも含

	めて町会は町会として啓発をして拡げていただくと良いのかなと考えている。 委員：私の地域では毎月 1 回第二土曜日に業者に頼んで収集してもらって、そのリストでお金を払って、1 年間まとめてごみ減に持ってきて補助金をもらっている。それ以外に年 1 回全町会をくまなく回って掃除をしている。そういったところが結構多いかと思うがどうか。 委員：うちでは年 2 回やっていて、補助金をもらえるというのは市民にとって 1 つのインセンティブになる。それでうちは、今まで子ども会と自治会と分けてやっていたが一緒に行うことにした。朝、常に子供の声で「今日は回収日です」と車で回り宣伝をし、行っている。非常に効果があり、大人がやったときは「うるさい」と苦情が来たが子供の声に対してはなかった。もちろんその子供の声は録音したものを使っている。子供が一緒にやるということを理由に、その時に「こども会にも入ってください」という宣伝もしている。そうするとごみの回収についてこども会も非常に協力的になる。 委員：良い取組みだと思うので広報の係に頼んでどこかで取り上げてもらったらどうか。 委員：うちの自治会は東京都のアルミ缶協会で表彰されたことがある。その理由の一つとして子ども会と一緒にやったことが、他とは一味違うことをやっていると評価された。 委員：お金とかは予算的に厳しいので、紙ベースでいろいろなことをやっている団体に対して、パブリックコメントもそうだが調査して、1 年間でこの町会・自治会はこんなことをやっている、非常に素晴らしいというようなものを作って感謝状などを贈ればもっと啓発というか減量ができるのではないかと思う。 委員：集団回収での補助金が少なくなると「困る」とみんなが言う。補助金はインセンティブになるので、他に出すなら町会・自治会の集団回収に出してという意見が多い。 委員：ごみに対する教育をしたい人たちは率先してやらなくてはならない。ごみは永久になくならない問題であるから。 2.その他 次回のごみゼロ社会推進協議会の日程について 市 ：次回は1月 30 日 14 時から開催を予定している。開催にあたっては改めてご連絡する。 委員：ごみゼロ協議会とは全然関係ないかもしれないが、先ほどパトロールの話があり、今日市役所へ来るときにニュース

	で聞いたが、「マスカットが盗まれました400房」と、安全柵のところにステンレスの鎖が何十本か分からないが全部外されていて、被害総額が40万円というようなニュースを続けて聞いた。また側溝のふたもよく盗まれたりしている。せっかくパトロールを郵便局さんや出前館さんという話があったがごみの関係の方でも、そういった不審な車等を見たら通報するような連携を警察や他のパトロールをしている部署もあると思うが、縦割り社会という言葉もあるけれどもそうではなく連携していけたら、こういう被害もださないようにできるのではないかと思う。 市 ：防犯課で、同じような協定を結んでいて、ごみだけでなく道路の穴あきといったことや、防犯的な観点についても行っている。 委員：今日、早く来庁し市役所内の掲示物を色々見て回ったが、八王子市はごみについて非常に一生懸命やっていて全国1位になったりもしているので、そういうのを宣伝する掲示板やコーナーを庁内に設けてアピールしたらどうかと思う。 市 ：プレスリリースとかはさせていただいているが、確かに庁内にはそういったものはないので、関係部署に確認してみたいと考える。 委員：本庁舎だけでなく事務所等でもできたら良いのではないか。 市 ：検討していく。